



# ていくおふ

～ つかまの里だより ～

H28・1・29 社会福祉法人国際保健支援会 広報第46号

例年と比べて随分と暖かい日が松本市でも続いていましたが、1月後半に入ると暖冬が一転。1月18日未明から雪が降り始めてアツという間に大雪となりました。つかまの里職員は早めに出勤して駐車場の雪かきをしました。気温はぐっと下がり路面は凍ってツルツルに。ようやく冬らしい冬がやってきました。

## そば打ち実演



12月9日は日清医療食品のそば打ち職人による、そば打ちの実演が行われました。そばは前日の夜から仕込みが始まりました(写真右)。そば粉は当法人のアジアアフリカ支援農場で収穫したものを使い、打ちたて茹でたての風味豊かなおそばです。ご利用者さまには美味しく召しあがっていただけたのではないのでしょうか。



## 入所クリスマス会



12月20日は入所のご利用者さまを対象にクリスマス会が開かれました。今年のクリスマス会は職員による「桃太郎」劇。桃から生まれた桃太郎が犬、猿、キジを連れて鬼を退治に行く王道ストーリーですが、つかまの里で飼っている犬のボリスの登場、鬼と桃太郎が戦う際の場を盛り上げる音楽、さらに劇の間に差し込まれるユーモアあふれる手品やダンス、また何よりも職員の気持ちのこもった迫真の演技と、とても楽しい劇になりました。



## デイケアクリスマスボランティア週間

12月21日からの6日間はデイケアご利用者さまを対象に多くのボランティアの方より歌と音楽が披露されました。スコップ三味線やバイオリン・ピアノの演奏、ハンドベルの演奏など、普段は聴けない音楽を楽しみました。



また、24日は職員による皿回し芸とハンドベルの演奏と人形劇。ていくおふ担当の小田切も登場しておりますが、わかりますか??ハンドベル演奏は練習する時間があまり取れませんでした。でも頑張って演奏しました。

また、人形劇はなんと練習なし!でもアドリブを効かせた劇は終始笑いが絶えませんでした。





## 2Fにつかまの里神社が できました！



1月6日。つかまの里2F南ホールの隣に「つかまの里神社」が出来ました。介護職員の永田が始めたもので、入所中のご利用者さまの1年の抱負を形にするために絵馬を作ることになったそうです。また文字を書くことは本人の意欲を引き出す効果があるとのこと。永田の絵馬に他の職員も共鳴し、鳥居などが付け足され立派な神社が完成しました！絵馬は三九郎の火に投げられました。ご利用者さまの抱負が達成できますように！



## まゆ玉づくり

1月7日はまゆ玉を作りました。まゆ玉は米粉を蒸して色を付けて練り、繭の形にして柳の枝に差していきます。色々な形のカラフルなまゆ玉が出来ていますね。つかまの里で作ったまゆ玉は

とても綺麗な出来でもったいないので、焼かずに施設内にしばらく飾って楽しみました。



## 三九郎

1月9日はアジアアフリカ支援農場に三才町会の大人と子どもたちが集まって三九郎が行われました。柳の枝の先に刺したまゆ玉を三九郎の火で焼いて食べると、その年は風邪を引かないとか、虫歯にならないと言われています。



## 南天診療所よりお知らせ

ブライダルチェックを実施しています。詳細は0263-29-1515までお問い合わせ下さい。

12月には南天診療所前でクリスマスイルミネーションが光を放っていました。

## サービス付き高齢者向け住宅 埴生の宿より

随時入居のご相談をお受けしております 1月29日時点で満室となっておりますが、随時入居の申し込みお待ちしております。「サービス付き高齢者向け住宅ってどんなところ？」と疑問をお持ちの方、気軽にご相談ください。ご見学も歓迎いたします。当法人では、申込者のご希望、状況を伺いながら、埴生の宿とつかまの里の職員が連携を取り、どのようなサービスの利用が最適か、ご相談に応じています。埴生の宿でもつかまの里でも対応いたします。

